

百年前の家庭生活

湯沢 雍彦
中原 順子
奥田 都子
佐藤裕紀子 著

B6判／並製カバー付／二七二頁／定価本体一、五〇〇円

平成一八年八月末日刊行

■〈百年前の日本の家庭生活はどのようなものであったのか〉

このことに共通の関心を抱いた四人の方が、専門分野から資料を持ち寄って話し合い、ひとつにまとめたのが本書。

■都市と限らず農村・漁村にまで拡げ、一九〇〇（明治三十三）年から一九〇七（明治四十）年までの八年間にしほり、各種の記録や広い範囲にわたってナマの言葉を拾い、家庭生活を提示。

■著者紹介

湯沢雍彦（ゆざわやすひこ）
お茶の水女子大学名誉教授
養子と里親を考える会理事
中原順子（なかはらよりこ）
千葉家庭裁判所調停委員
文京多言語サポートネットワーク副会長
奥田都子（おくだみやこ）
静岡県立大学短期大学部助教
佐藤裕紀子（さとうゆきこ）
東京福祉大学専任講師

《内容》

第一章 ロンドンと東京の百年前

- 一、ロンドンの暮らし
- 二、日本に置き換えて

第二章 二十世紀初頭の出来事

- 一、到来を祝うイベント
- 二、報知新聞の予言
- 三、報道に現れた社会の移り変わり
- 四、描かれた家庭の人々

第三章 家族のありかたとその周辺

- 一、家族制度と新しい感情
- 二、結婚・離婚・婚外子
- 三、周辺環境の変化
- 四、変わらぬ衣生活と住宅

第四章 食生活のあれこれ

- 一、明治三十年代の食生活の概観
- 二、都市の食生活
- 三、農村の食生活
- 四、兵士の食事と缶詰

第五章 医療と衛生の遅れ

- 一、平均寿命と体力
- 二、国家的問題であった疾病
- 三、医療の実際
- 四、葬式と出産
- 五、庶民の日常生活と衛生

第六章 家計からみた貧富の違い

- 一、農家の経営状態
- 二、漁民の家庭
- 三、都市家庭の暮らし向き

第七章 子どもたちの生活と学校

- 一、子どもたちの明治三十年代
 - 二、家庭の子どもたち
 - 三、通学路の風景
 - 四、子どもたちの学校生活
 - 五、子どもたちの世界
- 付一、当時の社会階層の分布
付二、家庭用具と制度の今と昔

《既刊》

祖母・母たちの娘時代

——庶民生活史の一つの試み——

■明治の終わりから昭和の初めに娘時代を過ごした22人の記録。

湯沢 雍彦 編 B6判／並製カバー付／250頁／定価本体1,200円

注 文 書

書店印

冊

湯沢 雍彦・中原 順子
奥田 都子・佐藤裕紀子 著

株式会社ワレス出版 発行

百年前の家庭生活

ISBN4-87733-336-3 C3039 *1500E

定価本体1,500円

年 月 日

《日本人、育てのなかのしつけ論》 文献シリーズ

全9巻／石川松太郎・山本敏子・藤枝充子編・解説
「しつけ」の歴史と将来の課題とを念頭において、明治から昭和末までの18文献を収録。教育学はもとより、心理学・社会学・民俗学・民族学・小児医学など広域におよぶ視角から選抄。

A5判／総4,560頁／揃定価本体90,000円 ISBN4-87733-327-X

第1巻 日本のしつけ、日本礼法史話
第2巻 婦女心得 躰と育、子供の躰方 一名育兒憲法
第3巻 家庭教育 子供のしつけ方、実験 子供の躰け方
第4巻 女工の躰けと教育、女工の躰けは此呼吸から
第5巻 国民学校 躰の修練実践、国民学校 ヨイコドモの躰
第6巻 幼児の家庭教育、子どもの自由としつけ
第7巻 こどもの心理としつけ、幼児の心理としつけ
第8巻 巨視的しつけ法、しつけ
第9巻 言葉の教養 躰の変遷と現代の問題点、しつけ

家族研究論文資料集成

明治 大正 昭和前期篇全27巻別巻1 老川寛監修・解説
明治初期から昭和20年8月までの「家族」に関する論文資料を収録。

第1回配本全5巻 家族・家族制度論、家族・家族制度史
揃定価86,000円 ISBN4-87733-092-5

第2回配本全6巻 家族構造、大家族、戸籍・人口（統計）
揃定価116,000円 ISBN4-87733-093-3

第3回配本全5巻 家族の機能、家族の伝統と変化、農・山・漁村家族、都市家族 揃定価113,000円 ISBN4-87733-094-1

第4回配本全6巻 婚姻 揃定価120,000円 ISBN4-87733-095-X

第5回配本全5巻 離婚、相続、隠居、分家、親子、親族・同族・氏族、家族の問題 揃定価80,000円 ISBN4-87733-096-8

第6回配本 別巻 総目次、執筆者別索引、解説
本体5,000円 ISBN4-87733-097-6

A5判／総24,500頁／揃定価本体520,000円

「子どもと家庭」文献叢書

全12巻／石川松太郎監修 山本敏子・藤枝充子編集協力
明治初年より昭和期の第二次世界大戦終了時までに家庭教育について論述した文献を、子どもと家庭（とくに両親）との人間的な関わりに視点を置き、思想・心理・生活などさまざまな角度より収録。日本の近代社会の子育ての理念・方法・内容の軌跡。

A5判／総6,280頁／揃定価本体132,000円 ISBN4-87733-042-9

戦前期国勢調査報告集

全19巻／湯沢雅彦監修 財団法人日本統計協会編集協力
大正9年を第一回として、五年毎に調査されている「国勢調査」の戦前分を復刻。全国、府県、市町村別の男女別年齢別の人口、就業状況、配偶関係、住居の種類、世帯の構成等詳細な統計集。日本の家族、地域社会、全国のすぐれた断面図を提供。

B5判／総10,900頁／揃本体376,000円 ISBN4-906330-78-9 ほか

戦後家庭教育文献叢書

全10巻／石川松太郎・山本敏子監修・解説
家族が家庭で子どもに基本的な教育と社会化を行う「家庭教育」は、子どもの人格形成に重要な役割をもち、教育の基本である。「家庭教育」という枠組みのなかでも、思想哲学、歴史、行政政策、社会、心理、児童・社会福祉にも及んで編集している。

A5判／総4,120頁／揃定価本体94,000円 ISBN4-87733-018-6

岡崎文規著作選集 人口と家族

全6巻／清水浩昭監修・解説
大正末期から昭和40年代に至る長い期間、日本を代表する人口学者の一人であり、また人口行政の中心者であった岡崎文規の主要著書・論文のうち、「人口と家族」の視点から編集。結婚、離婚、出産、死亡全般、自殺、他殺など人口動態の幅広い資料。

A5判／総3,060頁／揃定価本体85,000円 ISBN4-87733-011-9

婦人と新社会

全7巻／別冊総目録、解題付 五味百合子監修
山田わか個人の評論雑誌として、わかを主筆に、夫嘉吉を編集発行人として大正8年4月創刊され、昭和8年7月第160号まで刊行されたものを復刻。婦人問題研究の宝庫であり、わかの人間問題は「愛」であるという主張が全号を通じて掲げられている。

B6判／総5,100頁／揃定価本体90,000円 ISBN4-906330-76-2

家庭文庫

全12巻／別冊解説 上笙一郎・山崎朋子編纂
婦人文庫刊行会が大正4年から6年に出版した〈近代家庭〉創出期の〈女性思想〉を追究し〈家庭思想〉の展開を跡づけるために必須の貴重文献。新婦人訓（成瀬仁蔵）、良妻賢母論（宮田脩）、家政講話（嘉悦孝子）、家庭衛生（吉岡弥生）ほか。

四六判／総4,540頁／揃定価本体91,000円 ISBN4-87733-326-6

女性日本人

全12巻／別冊総目録、解題付 佐藤能丸監修
婦人総合雑誌として三宅花圃が主宰し、大正9年9月に創刊、大正12年9月の終刊まで全38冊が刊行された。婦人参政権・男女平等・生活改革・恋愛と貞操など多方面に目配りした重要な問題を取りあげている。また大正後期の文学状況を知るに不可欠な資料。

A5判／総7,900頁／揃定価175,000円 ISBN4-906330-74-6,75-4

叢書 日本の児童遊戯

全25巻別巻1 上笙一郎編、各巻解説付
江戸時代より第二次大戦期までに出版された〈子どもの遊び〉にかかる文献のうち、理論的・研究的・教育的・実技習得的および好趣味的なもので、しかも稀覯的なものを復刻。

第1回配本 I. 伝承的な遊びと玩具 第1巻～第9巻 全9巻
揃定価94,000円 ISBN4-87733-200-6

第2回配本 II. 近代の遊びと研究 第10巻～第16巻 全7巻
揃定価83,000円 ISBN4-87733-201-4

第3回配本 III. 遊びと子ども 第17巻～第25巻 全9巻
揃定価98,000円 ISBN4-87733-202-2

別巻 総論 日本の〈遊び＝おもちゃ研究〉のあゆみ（上笙一郎著）
叢書 日本の児童遊戯 全25巻 解説集
定価5,000円 ISBN4-87733-203-0

A5判／総14,460頁／揃定価280,000円 ISBN4-87733-204-9

藤田徳松著作集

藤田徳松著 森崎富喜編集協力
大正末より昭和初期に、精力的に婦人問題に関する論文を発表。わが国最初の総合的婦人問題文献誌『明治大正婦人問題文献誌』を独自で刊行した隠れたる書誌家藤田徳松（1898～1975）の業績と足跡。論文、小伝、書誌研究を収める唯一の書。

A5判／450頁／定価本体6,311円 ISBN4-906330-77-0

